

鍋島達弥先生 退職記念祝賀会趣意書

謹啓 寒中の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、鍋島達弥先生におかれましては、令和三年三月をもちまして、筑波大学をご退職になられました。鍋島先生は、昭和五十四年東京大学理学部化学科をご卒業後、筑波大学大学院にて理学修士を取得され、京都大学大学院にて工学博士を取得されました。その後、昭和六十年スタンフォード大学博士研究員、昭和六十一年筑波大学準研究員、昭和六十二年同大助手、平成元年群馬大学助手、平成三年同大助教授を経て、平成七年筑波大学助教授に転任されました。そして平成十一年より同大教授に就任され、長年にわたり、学生の教育、研究の推進、後進の指導育成に深くご尽力されました。多くの優れた研究者、技術者を世に送り出すとともに、我が国の学術振興に大きく貢献されております。

ご研究面では、超分子化学の黎明期より独自の視点からホスト・ゲスト化学の研究に専心され、擬大環状化合物、分子ゲート、協同的マルチメタロシステムなど独創的な分子の設計・合成を礎に、多くの研究成果をご発表されました。これらの成果は、超分子化学における先駆的な研究として高く評価され、基礎有機化学、生体関連化学、錯体化学といった周辺分野、学際領域に多大な功績を残されております。このような顕著なご業績により、平成二十年度 日本化学会学術賞「分子機能変換のための協同的・応答的超分子システムの構築」、令和三年 ホスト・ゲスト・超分子化学研究会 功労賞、令和四年度 基礎有機化学会賞「特異的分子構造の精密制御と協同的機能の創出」と数々の賞を受賞されました。

先生は、ご研究以外にも多方面でご活躍されており、筑波大学内においては理工学群化学類、数理物質科学研究科化学専攻／物質創成先端科学専攻／ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻の運営に貢献され、数理物質科学研究科副研究科長、物質創成先端科学専攻長、理工学群化学類長を歴任されました。また、学際物質科学研究センターの発足、そしてエネルギー物質科学研究センターへの改組・発展に貢献され、長年にわたり両研究センターのセンター長として運営に注力されました。令和三年四月からは、エネルギー物質科学研究センターの特命教授として、研究推進に引き続きご尽力されておられます。学外におきまして、日本化学会において理事／関東支部幹事／生体機能関連化学部会会長／バイオテクノロジーディビジョン幹事／速報誌編集委員、有機合成化学協会において関東支部幹事／評議員／協会誌編集委員、ホスト・ゲスト・超分子化学研究会においては研究会会長、基礎有機化学会において副会長／常任理事、化学・バイオつくば財団において評議員を務められるなど、数多くの学会の運営、発展にご貢献されております。

このような鍋島先生のご功績を顧み、これまで先生の教えを受け、研究に携わることができた者として鍋島先生のご退職と新たな門出をお祝いしたいとの機運が高まり、今般、別紙の要領でお祝いの会を計画するに至りました。皆様とともに、鍋島先生のこれからの益々のご健勝、ご活躍を心から祈念したいと存じます。また、この機会に卒業生・関係者の皆様には、お互い再会を喜び合い懐かしいひとときを過ごしていただくと共に、世代を越えて交流を深めていただければ幸いと存じます。皆様方には万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

謹白

令和五年一月吉日

鍋島達弥先生 退職記念祝賀会 発起人一同

発起人 秋根 茂久、佐藤 総一、山村 正樹、ゲーリー ジェームズ リチャード、中村 貴志、松岡 亮太、千葉 湧介、中島 崇文